

平成20年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」プログラムにおける課題の指定について

平成20年6月26日
総合科学技術会議

平成20年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」プログラムにおける調査研究として、下記の課題を指定することとする。

記

第3期科学技術基本計画のフォローアップ「理数教育部分」に係る調査研究

第3期科学技術基本計画のフォローアップ「理数教育部分」に係る調査研究

実施期間:平成20年度
科学技術振興調整費充当見込額:調整中
実施機関:国立教育政策研究所(文部科学省)

本調査研究の目標

第3期科学技術基本計画(5年計画:平成18年度～平成22年度)(抜粋)平成18年3月28日閣議決定
「3年を経過したときに、より詳細なフォローアップを実施」

理数教育の部分に関して、これまでの施策の効果の検証及び今後の効果的な
施策の誘導・促進に資するよう、国内外の実態および課題の調査・分析を行う。

本調査研究の具体的内容

1. 理数教育を担当する教員に関する調査・分析と国際比較

- ・理数教員の教育を巡る実態を把握し、今後の課題を抽出するため、日本の小・中学校の理数教員の現況(バックグラウンド、当該分野の準備状況、意識、指導方法、理科支援員の活用、実験・観察の実態、研修、教科指導以外の業務量等)について調査分析と国際比較
- ・科学館・博物館、大学・高専、地域等が学校教育における理科教育を支援しているが、学校現場の教員と科学館等との連携についての現状把握・分析及び主要国の代表事例についての現状把握
- ・教員の指導力の確保・向上という観点から、日本と主要国との教員制度(教員養成から採用までの過程、研修、免許更新、給与等)に関して具体的事例の調査・分析

2. 学校教育における理数教育の内容に関する調査・分析と国際比較

- ・日本と主要国における教科書に関して、指導に有効なものとなっているかどうかの観点から、特定事項に係る記述振り、教育活動における教科書の位置付けや使用状況、ページ数、費用、執筆者等についての調査・分析及び比較
- ・高等学校における理数科目の履修や大学入試制度に関して、日本と主要国の状況把握・比較分析

3. 子供たちの理数関係の学力・興味関心と相関する要因についての調査・分析と国際比較

- ・子供たちの理科や算数・数学に係る学力・興味関心と、相関する要因(授業実態、子供たちの生活・学習状況、家庭環境等)について調査・分析及び国際比較

フォローアップについて

国立教育政策研究所での調査結果をもとに、基本政策推進専門調査会にて議論を行い、平成21年度に総合科学技術会議で報告